

光関連の問題のトラブルシューティングで頻繁に要求される情報

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ONS 15454マルチサービスプロビジョニングプラットフォーム\(MSPP\)](#)

[15454停止データ収集](#)

[Tech-support.exe](#)

[現在のアラーム](#)

[条件](#)

[履歴](#)

[監査ログ](#)

[ネットワーク図](#)

[回線リスト](#)

[ノードデータベースバックアップ](#)

[在庫リスト](#)

[CTCソフトウェアバージョン](#)

[\[パフォーマンス\]タブ \(\[モニタリング\]\)](#)

[ONS 15454 Multi-service Transport Platform\(MSTP\)](#)

[Metro Plannerファイル](#)

[ONS 15454 Multi-Layer\(ML\)カード](#)

[ONS 15530/15540](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、お客様がネットワークの問題を効果的にトラブルシューティングするうえで要求することの多い情報を提供します。お客様が要求する情報は、問題の重大度によって異なります。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[ONS 15454マルチサービスプロビジョニングプラットフォーム \(MSPP\)](#)

[15454停止データ収集](#)

停止をトラブルシューティングするには、停止中に診断ファイルと障害が発生した回線のリストを収集する必要があります。このセクションに記載されている他の項目は、停止がクリアされた後に収集できます。

障害が発生した回線を特定し、各回線の送信元と宛先に関する詳細情報を収集します。[回路]タブを選択し、回路リストをHTML形式で保存します。障害が発生した回線を強調表示します。ファイルを保存します。推奨されるファイル名はfailed_circuits.htmlです。

障害が発生した複数の回線の送信元、宛先、およびルートに関する詳細情報を収集します。次のステップを実行します。

1. [Circuits]リストから障害が発生した回線の1つを選択します。
2. [Edit] をクリックします。
3. Show Detailed Map チェックボックスにチェックマークを付けます。
4. PRINT SCRNキーを使用して、詳細な回路マップを表示する画面をキャプチャします。
5. スクリーンキャプチャファイルをfailed_curcuit_x.jpgという名前で保存します。xは障害が発生した回線を識別するための番号を表します。
6. 障害が発生した回線ごとに、ステップ1 ~ 5を繰り返します。

[図1に](#)、問題のトラブルシューティング手順を示します。

図1 – フローチャート

